

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	214	学校名	仙台市立中田中学校	校長名	渡邊 哲也
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「緑化やゴミ拾いによる住み続けられるまちづくりを」



2 取組の紹介

委員会活動では、学校のみならず明るく住みやすい地域となるようにという目的のもと、JRC 委員会が学校の緑化活動に取り組みました。さらに、その他のボランティア活動として、地域の清掃活動に取り組みました。

緑化活動は、委員会全員で、地域の方の目にも入るところに植えました。色とりどりの花を植えたことで、緑化によるCO₂削減だけでなく、住みよい街としての役割を担っています。地域の清掃活動では、「アルカス」といったボランティア団体をつくり、年に2回程度行っています。ごみの処理などに特に注意を払うなどして、その街に住む人が環境に与える影響を減らす取り組みを行いました。

理科の授業においても、CO₂削減するためにどのような取り組みがあるか考えさせました。中学2年理科の「天気とその変化」の単元において温暖化予測にふれる部分があります。そこで温暖化の原因であるCO₂削減に向けて何ができるか班で考えさせました。その時間に出た意見の一例を紹介します。

- ・木を植える
- ・待機電力をゼロにする
- ・紙などの資源を無駄遣いしない
- ・屋上を緑化する
- ・部屋の電気をこまめに消す
- ・エアコンの設定温度を適切にする

〈緑化活動〉



〈CO₂削減にむけて (授業)〉



〈地域の清掃活動〉



3 取組の成果

生徒一人一人が取り組みのねらいをしっかりと理解をして行うことができました。活動のねらいをおさえることで、テーマであった「緑化やゴミ拾いによる住み続けられるまちづくりを」に迫ることができました。日頃の学校生活の中でも、CO₂削減に向けて自身にできることを積極的に行っている生徒が増えているように感じています。